

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 チューブ用クランプ 43223000

MMI チューブホルダー パーシー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

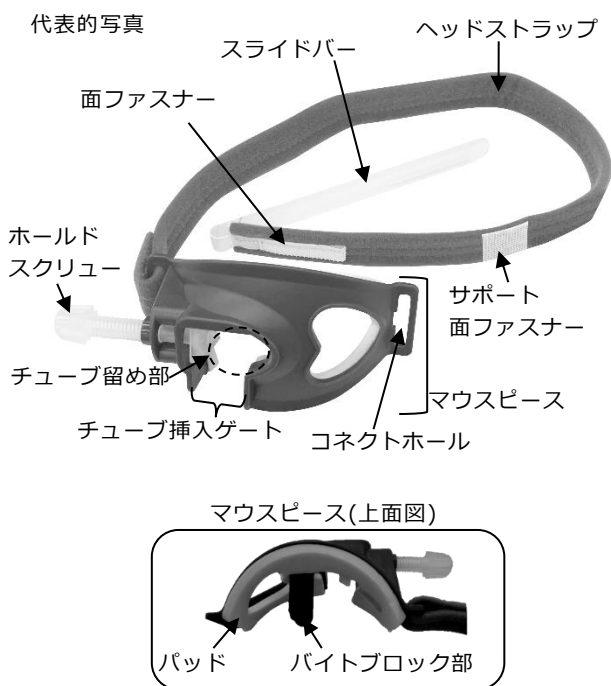
〈使用方法〉

1. 再使用禁止 [交差感染のおそれがある]。
2. 24 時間を超えて使用しないこと [細菌の繁殖による感染症や皮膚の炎症を引き起こすおそれがある]。
3. ホールドスクリューで気管チューブを過度に圧迫しないこと [気管チューブ内の気体の流れを制限し、患者の換気を阻害するおそれがある]。

**【形状・構造及び原理等】

1. 形状

- 1) 本品は、マウスピース、ヘッドストラップ及びスライドバーから構成される。



2) 寸法

マウスピース: 約 W114×D43.5×H65.6mm
ヘッドストラップ: 約 L550×W20mm

3) 仕様

固定可能な気管チューブ外径: 6~18mm
耐咬合力 (バイトブロック部): 500N

2. 原材料

マウスピース(パッド以外): ポリプロピレン
マウスピース(パッド): エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)
ヘッドストラップ: ポリエステル

3. 原理

気管チューブを、形状の変化を抑えながら固定する。

【使用目的又は効果】

チューブをつまむための器具をいう。

*【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) マウスピースのチューブ挿入ゲートが患者の足側を向くようにし、チューブ挿入ゲートから患者に挿管された気管チューブがチューブ留め部に沿うように留置する。
- 2) 同時に、バイトブロック部を患者の口腔内の上顎と下顎の間に挿入し、パッドを患者の顔面に密着させる。
- 3) ヘッドストラップがねじれないように、スライドバーを仰臥している患者の首の下を通して反対側に出し、マウスピースの背面からコネクタホールの形状に合わせて通す。
- 4) スライドバーを取り外し、ヘッドストラップを折り返して緩まないように面ファスナー及びサポート面ファスナーで固定する。
- 5) 気管チューブをチューブ留め部に密着させ、ホールドスクリューを締めて固定する。
- 6) 使用後は、ホールドスクリューを緩めてから取り外し、適切な方法にて廃棄する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 本品は消毒・滅菌しないこと。
- 2) 気管チューブの固定後は、気管チューブの位置のずれや変形がないか確認する [気管チューブのずれや偶発的抜管が生じるおそれがある]。
- 3) 患者の頭頸部のサイズに応じてヘッドストラップを適切な長さに調整し、面ファスナー及びサポート面ファスナーで固定すること [気管チューブのずれや偶発的抜管が生じるおそれがある]。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- 1) 使用中は、本品が意図した位置から脱落していないか、損傷等が起こっていないかを定期的に確認すること。
- 2) 使用中は、患者の皮膚や口腔内、気道等の状態を監視し、必要に応じて適切な処置を行うこと。
- 3) バイトブロック部を挿入する際は、患者の唇等を巻き込まないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 有効期間

5年 [自己認証(当社データ)による]

2. 点検

使用前に各構成部品に汚れ、破損、変形、変色等の損傷がなく、正常に動作することを確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**村中医療器株式会社**
TEL 0725-53-5546



製造業者：ハンジョウ シャンヨウ メディカル社
Hangzhou Shanyou Medical Equipment Co., Ltd.
中華人民共和国